

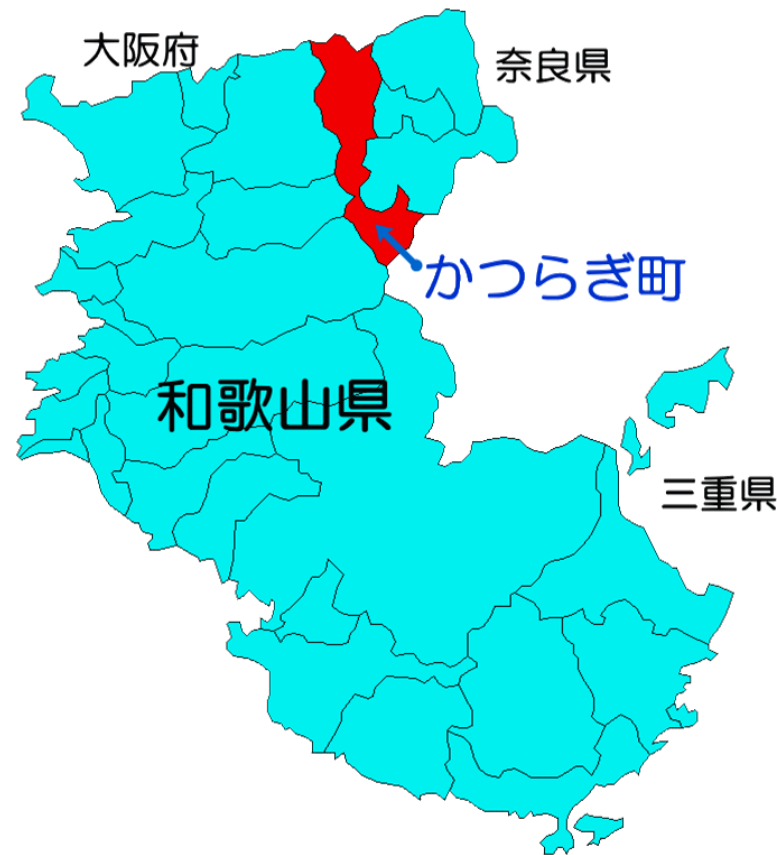
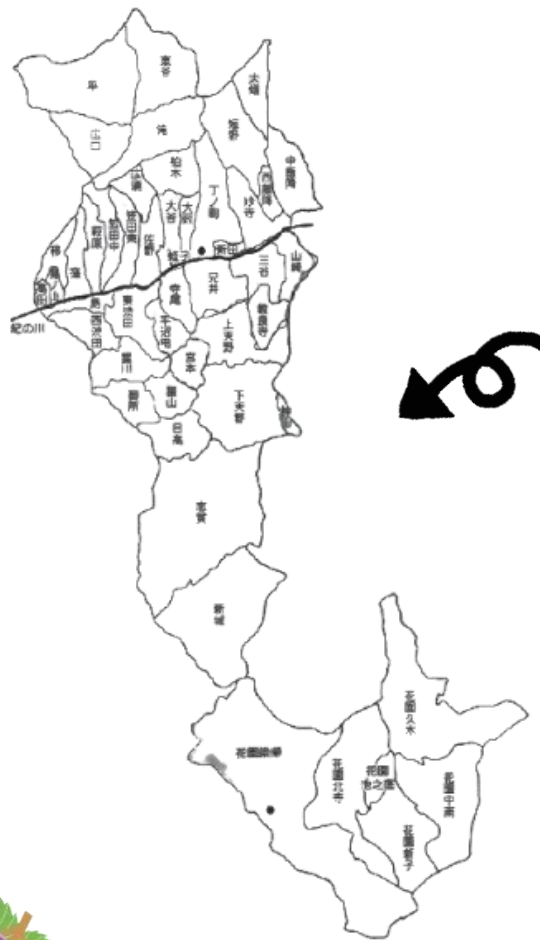
1. かつらぎ町の概要

1年中おいしい果物が栽培される！

フルーツ王国 かつらぎ町

令和7年3月31日現在

人口	15,211人
世帯数	7,120世帯
高齢化率	40.4%
小学校	5校
中学校	2校
高等学校	2校
公民館	12か所



南北に長いのが特徴！
(平野部 中山間地 山間地にわかれます)



世界遺産 丹生都比売神社（天野）



四郷の串柿



丹生酒殿神社の大イチョウ（三谷）

ここでひとつ
自慢させてください。



大東建託 住み続けたい街(自治体) ランキング2025



和歌山

第1位



関西

第4位

「町への愛着がある」
「町への誇りがある」
高い評価がありました



かつらぎ町って
ええところやで～～

2. かつらぎ町S Cの道のり - HISTORY -



かつらぎ町の生活支援コーディネーターの体制

令和4年度よりかつらぎ町社会福祉協議会が、町より委託を受け生活支援コーディネーターを配置しています。

かつらぎ町生活支援コーディネーター

所属…かつらぎ町社会福祉協議会 地域係

体制…専従（2名）澤本・横山
兼務（1名）竹本係長

＼SC4年目です！

専従2名で地区担当を決め活動しています！
澤本…妙寺中学校校区
横山…笠田中学校校区



1年目

～かつらぎ町を知る～



1年目～かつらぎ町を知る～（令和4年度）

▶ 当時は4人体制（専従1人/兼務3人）



最初の壁

生活支援体制整備事業って？ SCってなににするん？

どうしよう…



むずかしい…

まずは、SC自身がかつらぎ町を知ることが1歩

やってみよう！

＼がむしゃらに出向く／



- ・まちあるき
(誰にも出会わない日も…)
- ・公民館
- ・お店

＼地域の人と知り合う／



- 地域のキーパーソン
- ・社協が事務局を担う
団体の役員さん
 - ・民生委員
 - ・サロン、老人クラブ関係

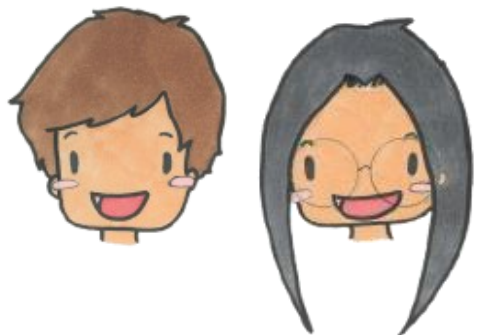
2年目

～知ったことを伝える～



2年目～知ったことを伝える～（令和5年度）

▶ 2年目から今の体制になりました



1年目で知ったこと(輝くヒト・場所・活動)をみんなに知ってもらいたい!知ったことは伝えやな!

やってみよう!

R5.6.2 豪雨災害がありました。大変だった…でもそれだけではありません。被害があった地域で
 *サロンができた!
 *まちあるきを企画!
 災害のコトを知ってもらう機会づくりに

ふくまる通信
 2025年 秋号 Vol. 13

かつかつ町 生活支援コーディネーター

気楽にお茶でも♪ -茶話会-

新しい活動である「茶話会」は、はじめて3年、ある会員の「長生会でもお茶会やってよ」の一言から始まりました。最初は、年1回でしたが、今は夏と冬の年2回に増えました。参加者も増えてきて、「茶話会」が長生会ではおなじみの活動になってきています。お茶を飲んでおしゃべりをして、脳トレゲームや歌、体操をしたり一気づけば時間が過ぎていきます。ひとり暮らしの方が増えてきていますが、この茶話会が同じこもり予防のひとつにもなっています。

長生会を知っていますか?
 長生会は、笠田東1地区にある63年続く老人クラブです。長生会の会員のみさんからよく聞く、『この地域に住んでいたら安心やな』そのコトの理由を長生会の魅力とともにお届けします。

きょういく(今日行くところ)・きょうよう(今日用事がある)

長生会のいちばんの魅力は、活動の多さ! 総務部・会計部・文化部・体育部・友愛活動部に分かれ、活動しています。グラウンドゴルフやベタンク、文化祭、茶話会、地域の公園の草花(草刈り)作業、研修会、隔年の日帰り旅行など盛りだくさんの活動内容です。出ていく場所がたくさんある一長生会の会員になれば大満足ですね(笑)でも、それがみなさんの元気の秘訣なのかもしれません。

みんなで作る 長生互版

会員の投稿を集めてつくる、手づくり通信です。年間4回発行、全会員にお届けしています。内容は健康の話やなつかしい話、新聞やテレビで見たことなど一みんなに伝えたい「ちょっといい話」や「豆知識」と長生会の活動報告です。互版で色々な情報をゲットできます。

【発行】社会福祉法人 かつらぎ町社会福祉協議会 地域係
 住所:和歌山県伊都郡かつらぎ町丁ノ町2338-2
 電話:0736-22-4311

ふくまる コーナー 迎春
 “地域づくり”を応援します!!
 33号

ま～るく、つながる人と人
 “地域づくり”を応援します!!

楽しい思い出が地域の幸せを祈願する

山崎丹生神社には大きな絵馬が奉納されています。この絵馬は山崎地区の方々がイチから手作りで作ったもので、毎年の干支に掛けかえられます。「地元の神社に絵馬があったらええな」とトールペイントを得意にしている方の声をきっかけに「じゃあ作ろう!」と仲良しメンバーが団結。十数年かけて十二支を完成させました。

作ることも楽しかったけれど、皆とおしゃべりが一番! おしゃべりに夢中で全然色塗りできていない時も…(笑) 絵馬を眺めると当時を思い出して今もワクワクします。

絵馬を通じて、思い出を懐かしむ。これまでの楽しい思い出が、幸せを願う地域づくりにつながっています。

ふくまる通信

年4回発行 (季節号)
 配布先…回覧/公民館
 事業所/病院
 金融機関

ふくまるコーナー

『福祉かつらぎ』の
 1/2ページで毎月発信!

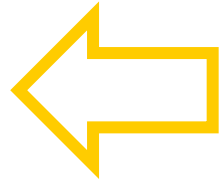
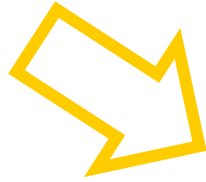
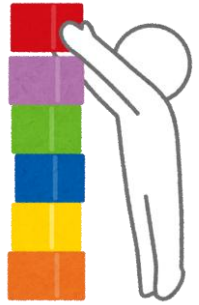
3年目

～つみかさねとつなぐ～

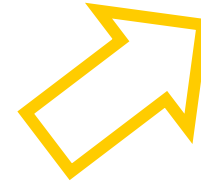


3年目（令和6年度）～つみかさねとつなぐ～

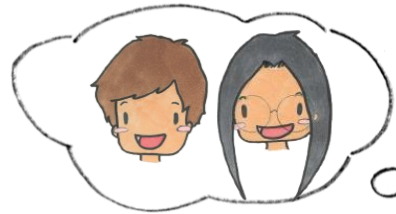
知る・伝えるを
つみかさねてきたことで...



相談をもとに
ヒト・場所・取組に
つなぐ
(コーディネート)



地域のヒトたちと
自然と相談しあえるよう
になりました



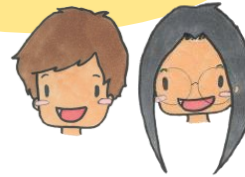
あの子らに
相談してみよう



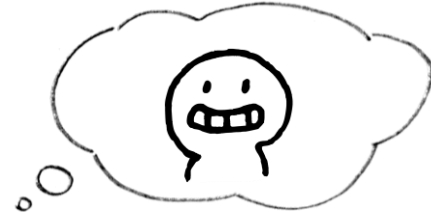
去年やってたあの取組
一緒にしたいな



〇〇さんにやったら
相談できるかも



この取組〇〇さんと
一緒にできたらな



近所の〇〇さんが
最近閉じこもりがちでね

相談をもとにしたつなぐ活動

1. 個別支援

▶ 団地住まいのAさんの話



Aさんは普段あいさつをしても返答がない。
でも団地の困りごとはお手紙で相談をうけています。
配慮が必要なのかな
関わってくれている人はいるのかな

相談者
同じ団地に住むBさん

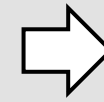
話す場づくり

つなぐ



SC

社協 相談員



Aさんのこと(障がいや配慮のしかた)を知ったBさん
地域で見守ってくれています



名前を呼んで「おはよう」と言ったら返事がきた!

相談者Bさん

地域のヒトの...
やってみよう!

2. 一緒に取り組む“新城ウォーキング”



新城公民館
主事

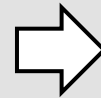
去年、SCさんがしていた「まちあるき」の取組を、今年は新城でしませんか？
新城公民館で秋にやっている、ウォーキングチャレンジ月間とコラボしたい!

つなぐ



SC

既存の
事業



公民館主事や地域の方と一緒にコースや流れ、当日の役割分担を考えました!



数珠づくり体験



語り部

／出番づくり／

一緒に取り組みを
やってみよう!

＼ S C 活動がなじんできたから！ ／

3年目は、**私たちらしい活動**に変化した時期



出合いと出番をつなぐ

出会いと出番をつなぐ ① 社協の既存事業（強み）

福祉学習



夏のボランティア体験

出番づくり

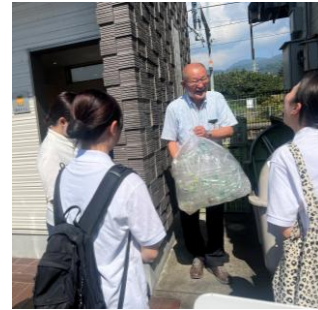
出番づくり

地域住民
(S Cが出会った人)

出番づくり

出番づくり

防災セミナー

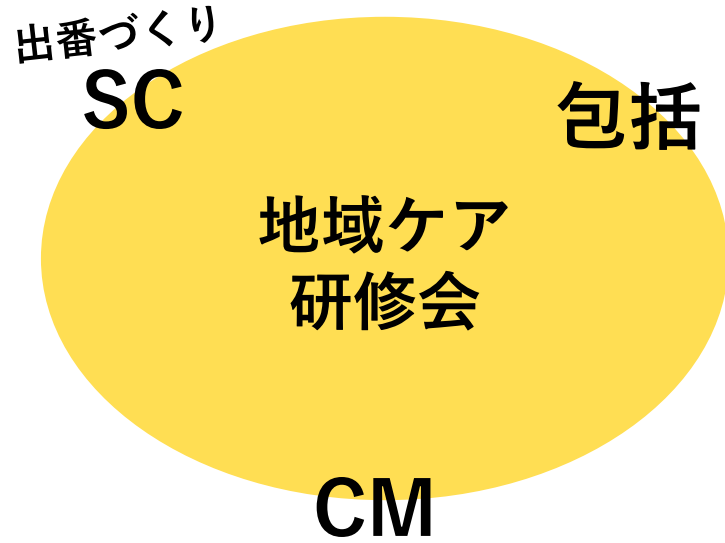


県立高等看護学院
フィールドワーク

社協を知ってもらう

社協主体の事業 → 住民主体の事業

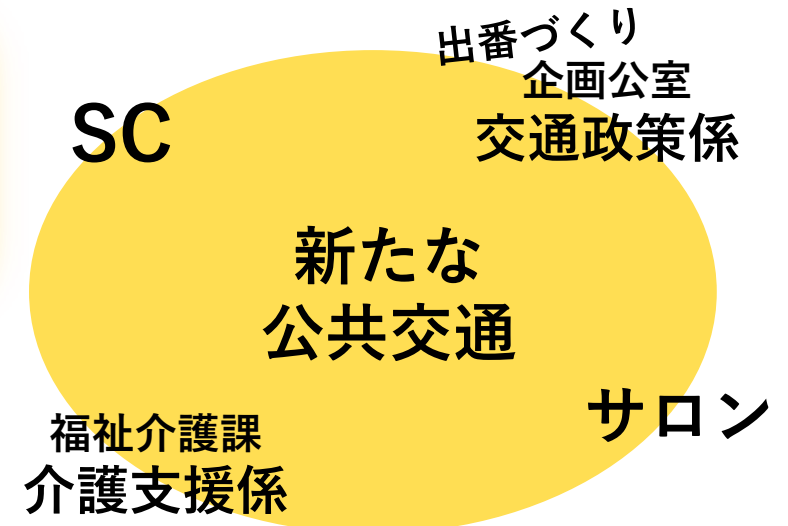
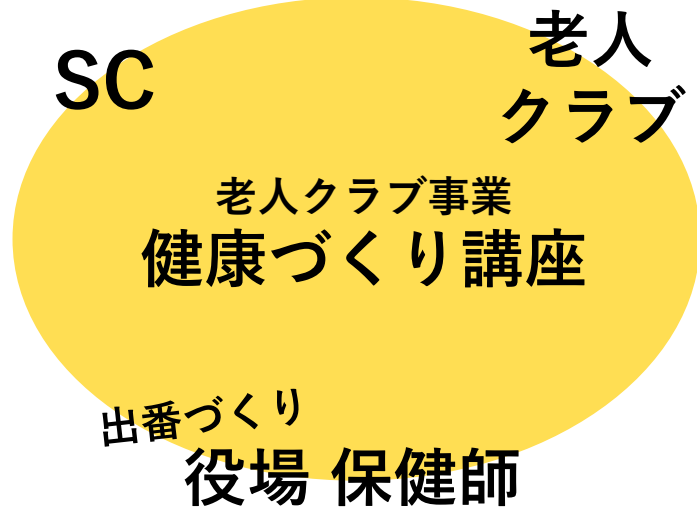
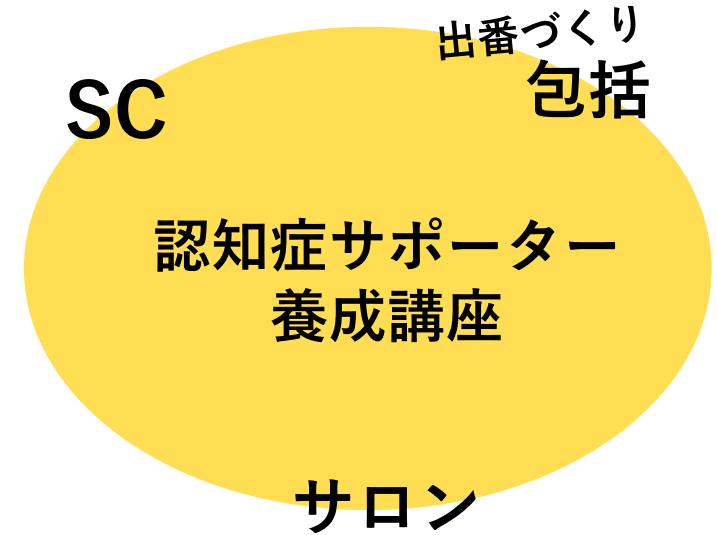
出会いと出番をつなぐ ② 連携機関とともに考える機会



出会いと出番づくりを
つみかさねる



関係が広がる
なにかあれば連携できる
winwin



4年目

～見える化～



4年目～見える化～（令和7年度）

見て・聞いて・感じて
たくさんのかつらぎ町の
情報を持っている！

その情報をカタチにして
伝えていきたい！

カタチにすることで
自然と情報が整理できる
かも！

第2層協議体は？
って言われるけど…
協議体にはこだわらない
SC活動をしていきたい！

3年間、がむしゃらに
地域に出向き続けて、
たくさんのヒト・場
所・活動に出会いまし
た。



正直、目に見える成果って
難しい…でも何もやってき
ていない訳じゃない！
情報を整理すれば見えて
くるかも！

やってみよう！

地域カルテ

をつくりはじめました！

自助 互助 共助 公助の

見える化

見せる化

『カルテ』と聞いてイメージすることは… 病院のカルテ



||

患者さんを“見える化”したものの

 地域カルテ = 地域の特徴を“見える化”したものの

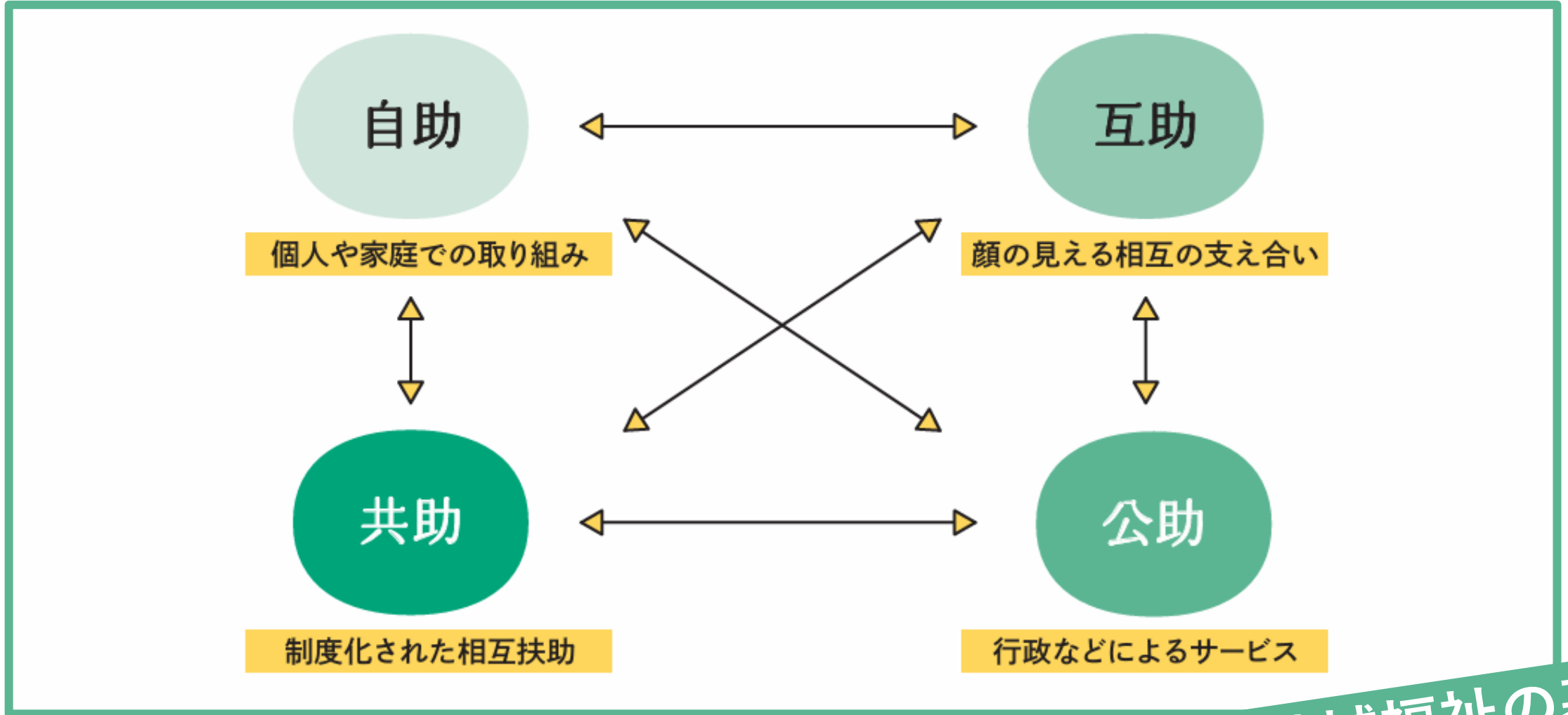
- 自分の住んでいる地域が、今どんな状況なのか
- 自分の住んでいる地域が、これからどうなるのか
- 自分の住んでいる地域の強み(魅力)や弱み(課題)は何か など

地区ごと(だいたい自治区ごと)に作成中！

地域カルテでは…

その地域の“自助・互助・共助・公助”の見える化

を大切にしています。



地域福祉の基盤

01 表紙

【かつらぎ町】

笠田東 I 地域カルテ

表紙＝カルテの顔
地域活動等の写真
を表紙に掲載してい
ます



作成：かつらぎ町生活支援コーディネーター

三谷地区

人口 929人 (R7.3.31現在)
 高齢化率 51%
 特色 寺尾・兄井・教長寺については農家(果樹)地帯であり、年間を通じて作業従事する機会が多い。三谷(5地区)は、三谷公民館や内生酒造神社を軸にした行事が盛んでいる。区長会組織の基軸のもとに、地域結束力があることも強み。農家や地域活動の継承者不足や、担い手不足は深刻であり、維持していくための方策が課題。

地域のキーパーソン・キースペース

毎月第2土曜日の定例会 ※SC活動説明済み

10人の区長

三谷区長

西谷区長 中谷区長 南谷区長 寺尾区長 兄井区長 山崎区長 野良市区長

この先、つながっていく機会(場)をどのようにつくっていくのいいか? どんな活動がすでにあるのか? 情報とご意見をください。

公民館 坂上館長の革新リョク&正木主事のつながりリョク

三谷公民館のふだん 今日2回目の公民館

携り動かなくなったから見て欲しい
 履家のスイッチの入れ方分からなくなったから見て欲しい
 「誰かおるかな〜」と思って来た
 コーヒー飲みに来た
 家におっても遠慮から来た
 嫌さんの介抱で疲れてから、話聞いて欲しい

「今日はどんなご用?」
 大切なことが、地域の居場所の意味

「いつもおんなじメンツなんよ〜」
 どれって誰なん??

生け花サークル
 和朗会
 手芸サークル
 いちちょうの会

太極拳サークル
 大極拳サークル

妙寺(国道北)地区

人口 1504人 (R7.3.31現在)
 高齢化率 32%
 特色 妙寺団地・広塚内・妙12・茶屋出・おばな・妙11・西飯降地区からなる。小学校や中学校が近隣にあることから新興住宅が増。若い世代が多し居住し、高齢化率が平均より低い傾向。町営団地では地域キーパーソンを中心に地域づくりが進んでいるが、以外の地域では世代間差により、地域つながりには課題が残る。スーパー等の相次ぐ撤退により生活にかかる地域資源も不十分。

妙寺団地〜長屋から建て替えを経て〜おせっかいくらいが丁度いい

「暑いやろ、ヤクルトの飲めへんかい?」
 「つながり」な〜にも変わってへん!!

「暑いやろ、クーラーあたって行けへんかい?」

入居者約120人。高齢化率51%。毎月14日は『トシヨリ』の日!

元気いこら教室の利用
 サロンや老人クラブ活動

「自助」チャレンジ
 「共助」集う(誘う)

「互助」気になる
 「公助」相談する

せっかく近くでくらしてるんやもん! みんな知り合えれほええやん!

食
 運動
 会話

くらしの一部にあるもの
 なんで挨拶してくれんへんのやろ?

合言葉 元気な100歳目指して努力しよう!

有事の安全・安心確保

志賀地区

人口 141人 (R7.3.31現在)
 高齢化率 61%
 特色 山間地域。(南山)
 令和5年、新たに志賀公民館が開館。地域拠点となる。活発な団体が多数存在し、公民館を軸に活動が展開中。メンバーに重複はあるが、「志賀」を軸に活動が展開中。協力し、地域を盛り上げる。

地域特色の三本柱 (行事・農業・活動) から考える

餅まき
 盆踊り
 志賀まつり

作品展
 ありがとうございます店

農業
 野菜
 お米

お互いに **受容・尊重 頼り合い**

地域の **つながり 役割・出番**

活動
 志賀ふれあいサロン
 志賀鶴寿会
 公民館サークル

健康相談
 ITG
 寄合会
 ワッショイ

これからの活用イメージ



地域カルテ作成

地域カルテを持って
地域に出向く

地域カルテについて
地域とSCが
話をする

地域カルテを
更新・追加

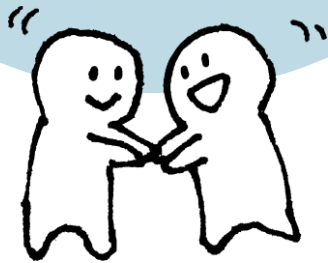
地域カルテをきっかけに
地域同士が
話をする

今はまだここ！
始まったばかりです

考えられる効果

つなぐ

- ・地域の情報を次の世代につなぐ
- ・地域の情報を関係機関につなぐ
(医療カルテと同じ役割)



きっかけ

- ・地域の人々が地域について話し合うきっかけ
- ・地域の活動やつながり、ささえあい(強みも課題も)を考えるきっかけ



高め合う

- ・地域の強みを再認識し、地域への思いを高め合う
- ・他地域の情報と対比することで、地域活動を高め合う



3. これから…

地域と一緒に“地域カルテ”を育てていきたい

地域カルテを活用し、地域に出向き、PDCAサイクルをくりかえすことで…

- ・自分ごと化の宝さがしを続ける
- ・小さな声(やりたいこと・困りごと)を地域と一緒に考え、カタチにしていく

これこそが、SCの役割



地域のつながりが強くなる



ご清聴ありがとうございました



ともいき

共生のまちづくり

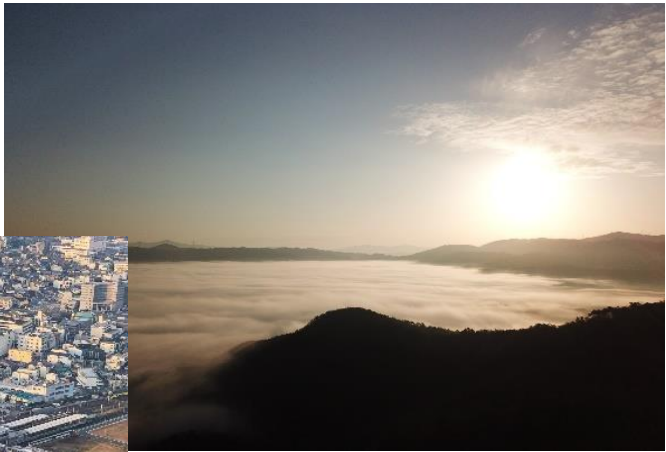
～亀岡市の生活支援体制整備事業～

令和8年2月10日

亀岡市高齢福祉課

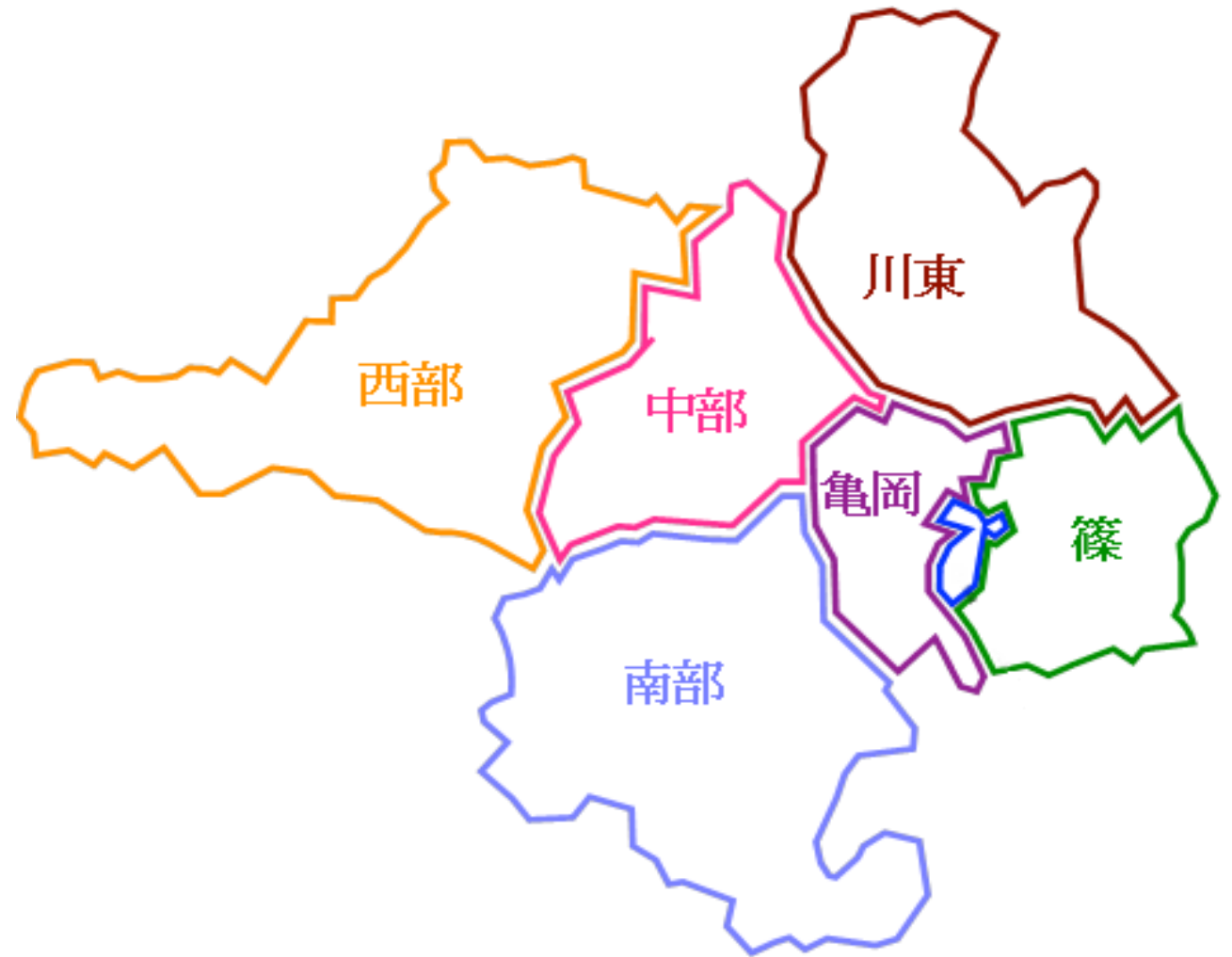
亀岡市社会福祉協議会

亀岡市の概要①



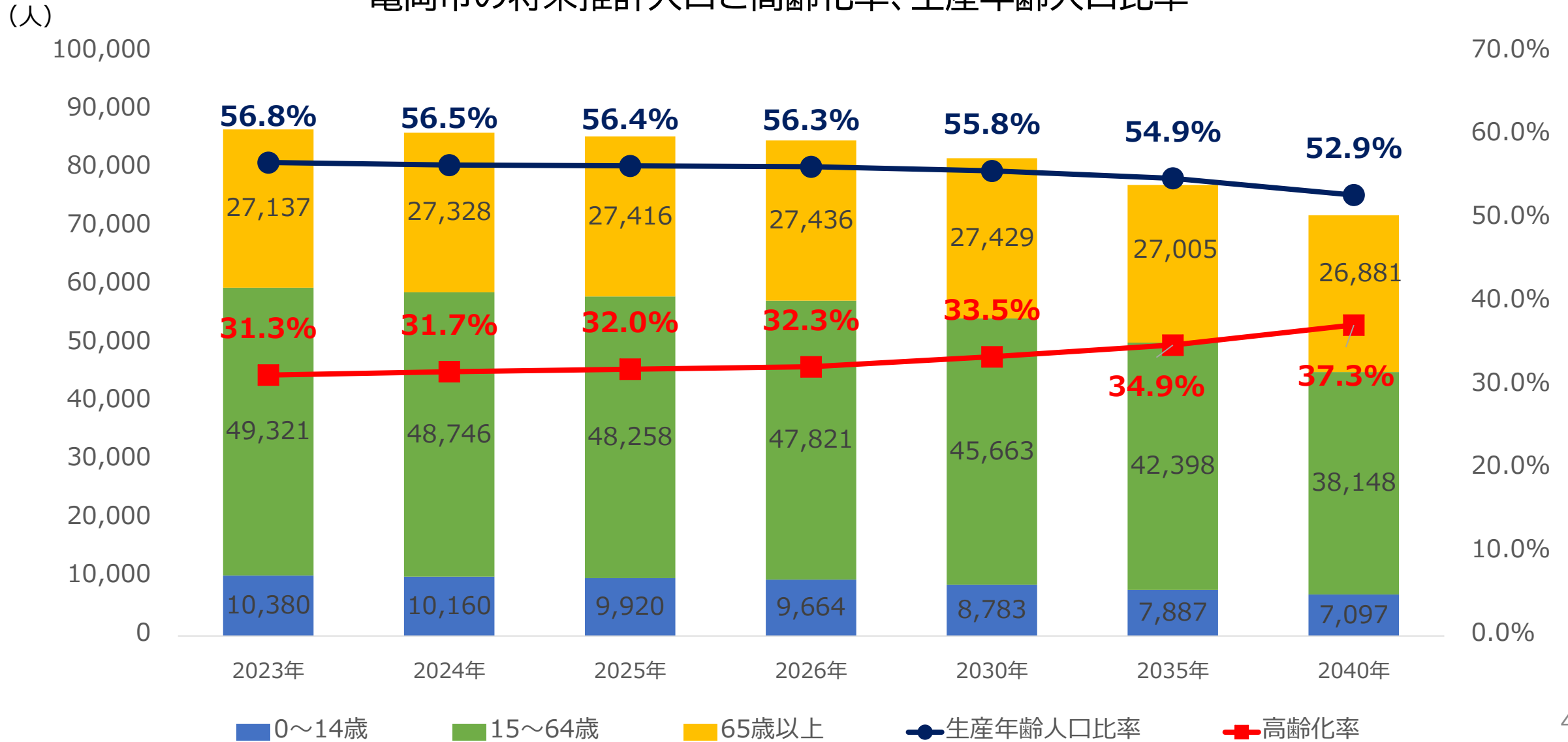
亀岡市の概要②

	R7.4.1
人口	85,900人
世帯数	40,521世帯
面積	224.8km ²
高齢者人口	27,294人
高齢化率	31.8%
（前期高齢者）	13.8%
（後期高齢者）	18%
日常生活圏域数	7
自治会数	23自治体
自治会加入率	79.0%



亀岡市の状況③

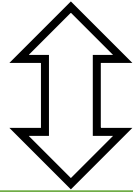
亀岡市の将来推計人口と高齢化率、生産年齢人口比率



亀岡市の生活支援体制整備事業の仕組み

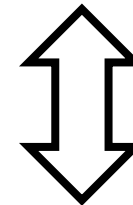
亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会

1層SC

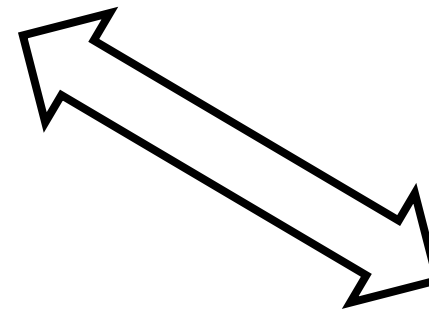


第1層協議体

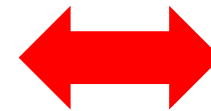
2層SC



第2層協議体



協力・連携

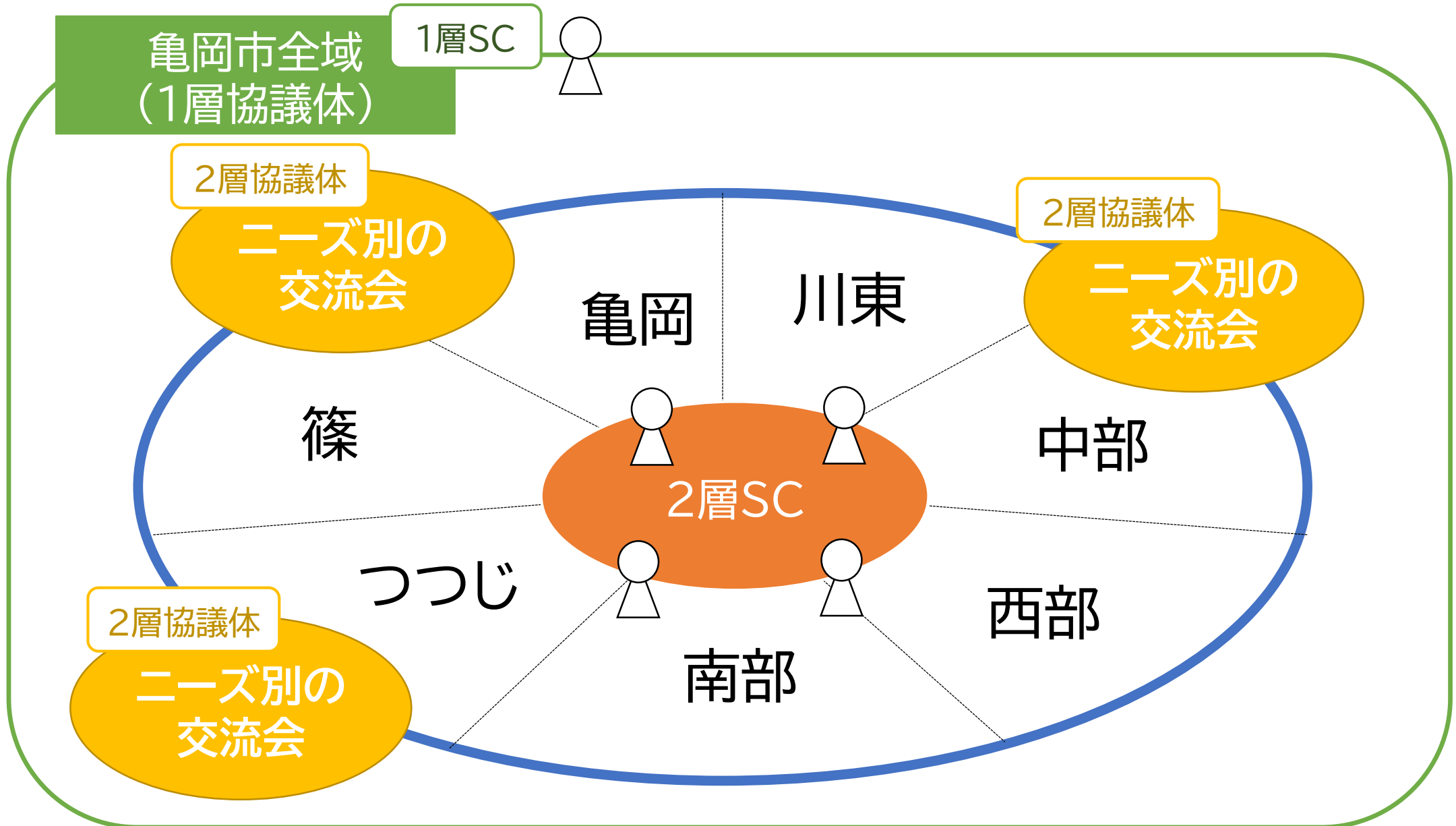


地域包括支援センター

地域ケア推進会議

地域ケア個別会議

亀岡市の生活支援体制整備事業の仕組み(令和5年度から)



行政の担当者として…

令和3年度

生活支援体制整備事業が理解できない

令和4年度

市と社協のイメージ共有と
亀岡市に合った仕組みづくりが必要

- ①生活支援体制整備事業の再構築
- ②ロジックモデルに取り組む

⇒亀岡市の「強み」を活かそう！

令和5年度

「強み」を活かすまちづくりの推進

- ①地域包括支援センターとの連携
- ②地域ケア会議など事業のすべてに「強み」の視点を取り入れる

令和6年度

連携先の拡大（住民団体や民間企業など）
住民等の声を聞く機会が増える

令和7年度

仕組みづくり（総合事業の多様化へ）

- ①かめおか生活安心サポート隊の創設
- ②総合事業の検討



大切に思うこと

①地域のすべての「強み」を活かすこと

②戻るところを作っておくこと

③国の示すとおりにやらなくてもいいこと

社協SCの動き

市の人口8万6千人

各町人口 468人 から 1万8千人

の23の町、7つの包括圏域⇒



(社協の強みを活かして)

・1層SC1名、2層SC4名 配置

7つの圏域ごとに、担当者を2名配置(複数圏域を担当) 地域を訪問

・自治会訪問 自治会長と年に1度はじっくり懇談する

(理念・事業説明や地域情報の交換 意識あわせ)

・「歩いて行けるところにサロンを作ろう！」 をテーマに、ふれあいサロン活動を推進

(118か所のサロンを訪問・関係づくり・相談支援)

(年に一度の地域活動者交流会と学習 団体相互の関係づくり、ボラグループとの交流)

「共生(ともいき)のまちづくり」の意識の醸成

⇒意識の醸成



「共生のまちづくり」

高齢になっても、住み慣れた地域で安心して住み続けられるように、生きがいの場や見守り、困った時の助けあいなどのあるまちづくりを、住民のみなさんの思いとともに考え、取り組んでいく事業です。

⇒住民ニーズの見える化 (キャリアの短いSCでもツールがあればOK)

「共生(ともいき)のまちづくりNEWS」(年2回発行)

「地域カルテ」

「サロン活動紹介BOOK」 「住民主体の移動支援BOOK」

「ボランティアBOOK」

見える化資料

↓年2回発行(8月、2月) 年1回発行⇒

ともいき - 「令和7年度亀岡市生活支援体制整備事業」委託事業 R7.8

共生のまちづくり NEWS

高齢になっても、住み慣れた地域で安心して住み続けられるように、生きがいの場や見守り、困ったときの助け合い、生活に必要な地域資源などのあるまちづくりを、住民のみさんの思いとともに考え、取り組んでいく事業です。

免許の返納後の日々の買い物は？
移動販売店とらじ
免許の返納後の通院や外出は？

移動販売の活用
バスやタクシーの利用
住民による移動支援事業

住み続けられる地域づくりを一緒に考えませんか？

自分らしく暮らせるように
地域の特色を活かしたまちづくりを
自分に出ることはなんだろう？

まだ出していないともいきさんとつながっていきます

生活支援コーディネーターが地域訪問しています！

歩いていける所にふれあいサロン等が増えるよう、新規立ち上げを応援しています。立ち上げ相談や、サロンへの参加希望、困りごとなどお気軽にご相談ください。

国分ふれあいサロン会 岡99町まちづくり会連(健康楽園) 菅原町元太楼会

生活支援コーディネーター
佐々木 久本 岡本 森 山内 眞野

西つづつ庄 うるさかめ 出雲台 ティーショップの会 下天町 楽遊会

連絡先(福) 亀岡市社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉係 山内、森、眞野、岡本、久本、株本
TEL 0771-23-6711/FAX 0771-24-0350 Mail tiikifukusi@fukukame-net.or.jp

令和6年度版 令和6年度 亀岡市生活支援体制整備事業

令和6年度版

共生のまちづくり

地域カルテ 町別データ BOOK

住み慣れた地域で安心して住み続けることができるまちづくり

2025年12月

回覧

2025年12月

回覧後、この冊子を必要とされる方にお渡しください。

かめおかの集まり・居場所・コミュニティ

サロン活動紹介BOOK

子育てサークルから高齢者サロン・老人クラブなど「つながり合う活動」を紹介します

(福) 亀岡市社会福祉協議会 地域支援課

東別院町 自治会

人口データ(2025/1/1)

世帯数	人口	面積km ²	人口密度人/km ²	人/世帯	高齢化率	医師数	保健師数
551	947	23.89	39.7	1.72	54.90%	31.50	
区画	組数						
14	53						
世帯別人口							
0-14歳	15-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳以上	要支援	要介護	
29	102	295	222	289	33	58	

介護や福祉状況(88)

福祉会費	若い引継ぎ資金	遺族向け資金
270,000円	158,700円	180,900円

「ともいきさん」やボランティア(BI) 市社協への相談件数(86)

事業	人数	事業	件数	介護	件数
ともいきさん	5	ひきこもり相談	0	介護保険相談	77
くらしのサポートサービス(協力会員)	0	貸付相談	0	医療相談	25
ファミリーサポート・センター(協力会員)	2			認知症相談	0

地域特性(ソフト面・ハード面)

地域のつながりが強く、住民同士の見守りや助け合いの意識が高い。高齢化が進み、買い物や病院に行くにも交通手段が乏しく困っている住民が増えつつあり、自治会が移動支援事業を担っており、送迎や買い物、サロンに行く足に困る住民の助けになっている。

・移動販売を行うカフェの誘致など地域振興にも取り組んでいる。
・保健ワランセンター、エコトピア亀岡と2つのゴミ処理場があり、亀岡市のゴミを処理している。長年ゴミが積まれているため、ダンプの作業による騒音・埃などの影響があるが、除害業者からの地域貢献もある。大型車両の交通量に対しては理解も深い。

市社協が組織している地域福祉活動(ふれあいサロンなど)

東別院町自治会

事業名	内容
送迎事業	買い物や送迎の移動支援のため、週3日運行。ふるさとサロンの送迎も実施。
週末たすけあい活動(年末年始実施)	1人暮らし高齢者や母子家庭、父子家庭に対して訪問活動。

団体名	活動日	時間	場所	内容
東別院ふるさとサロン	2ヶ月に1回	13:00-15:00	小泉公民館	贈り物やコミュニケーション送付付き。会費代3,000円
小泉サロン	毎月第2水曜日	13:30-	小泉公民館	デザート・飲み物、抽選、おしゃべり
見立茶話会			見立自治会館	手紙、歌、おしゃべりなど

FAMA NO TERRACE(山のテラス)

福日移動販売車で各区分を回っている。パンや惣菜などを購入販売されている。区分ごとに買いたい物のリストが揃っており、販売希望の商品との連携などが順次決定されている。

2024年9月改定 「令和6年度 亀岡市生活支援体制整備事業」委託事業

共生(ともいき)のまちづくり

亀岡市内の住民主体の移動支援紹介BOOK

自治会・地区社協主催の事業からボランティアグループの活動まで

(福) 亀岡市社会福祉協議会 地域支援課

東別院町の「地域の強み」

- ・もともと集まりの強い地域で高齢化が進んでいるため、地域でなんとかしたいという共通の意識があり、地域資源だけでなく、高齢者の個別支援においても、できることはやってみようという意識が高い。
- ・配食事業や移動販売に関するチラシを全戸配布されるなど柔軟な対応を行っている。チラシの効果もあって、移動販売が定着している。
- ・地域のロコモや、学校が把握している地域情報の幅が広い。
- ・移動支援事業を始める際、探求事業者から車両費用として寄付があった。
- ・地域ケア推進会議には、サロン運営をされている方の参加もあり、充実した内容になっている。

訪問時の写真

東別院ふるさとサロン (86.12.19撮影)



移動販売店との連携 サロン終了後に販売体験会を企画

移動スーパー、移動販売店との連携 サロン終了後に販売体験会を企画

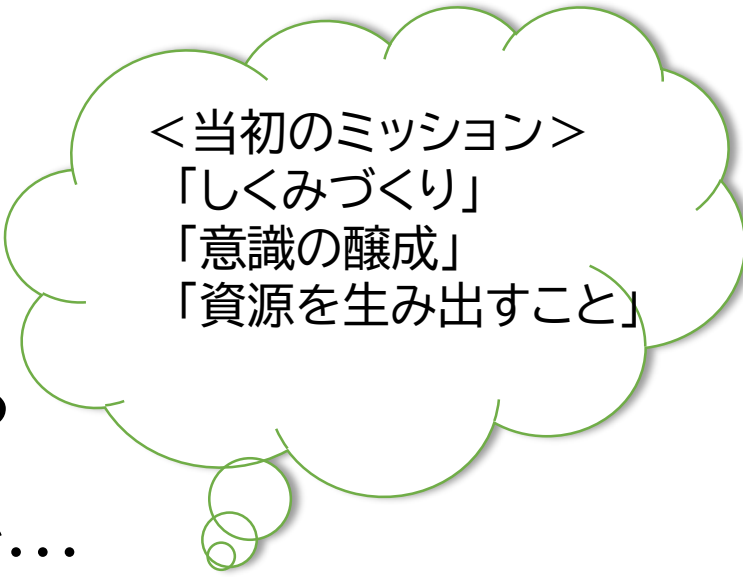
東別院自治会

(福) 亀岡市社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉係

SC活動のスタンス

- 「課題さがし」でなく「強みさがし」 
- 「住民主体」 住民の活動の「種」をみつけ、大切に「育てる」 
- 「住民ニーズ」に基づいて活動している住民等とともに、事業を進める
- ロジックモデルで時々振り返ってみる

紆余曲折 苦勞ばなし



<当初のミッション>
「しくみづくり」
「意識の醸成」
「資源を生み出すこと」

・どうやって「住民主体」で進めるか？

・さわやか方式で「フォーラム」「分科会」を2年ほどやってみたが…

・ニーズは何？

⇒「移動支援ニーズ」や「サロン」は、高齢福祉課の管轄ではないと言われ…

・協議体をどのようにして立ち上げる？

⇒7つの圏域を2つずつまとめて、2層協議体を3つ作る！？？？ 全く無理！

方針転換



- 課題の共有でなく、「強み」の共有



- 地域を訪問し、まわりの住民のために汗をかいた人たちとつながっていく（意識の高い人≡資源を生み出す人 必ずしも… そうではない）

- 2層協議体はテーマ(ニーズ)別とする



- ロジックモデルの作成 住民への対応の継続性



2層協議体

テーマ別⇒

令和7年度「亀岡市生活支援体制整備事業」委託事業



住民主体の移動支援を 考えるセミナー開催しました

令和7年8月7日(木)13:30～ 亀岡市社協 世代間交流室

第1弾 「道路運送法について学ぼう」 「市の補助制度について」

<講師>
近畿運輸局京都運輸支局 中垣 吉雄さん
亀岡市桂川・道路交通課 門下 研也さん

<参加者> 30名

活発な質問が
出されました。

学び

- 公共ライドシェアには「交通空白地有償運送」と「福祉有償運送」の2種類があること。市は、公共ライドシェアを進めようとしている。
- 交通空白地等で住民主体の移動支援事業をする際には、市の補助制度があること。
- 住民主体の移動支援事業は、国交省に登録許可が不要であるが、「ガイドライン」が定められていること。①利用者から「運送の対価」として直接ドライバーにお金が渡るのであれば、団体からドライバーに手当てが支給されても違法でない。②利用者から実費(ガソリン代、車両維持費等、保険料)をもらうのも違法ではない。

Q:「登録許可不要モデル/生活支援モデル」について

30分500円で生活支援を行う事業のメニューの一つとして、家事援助や草引き作業などと並んで「買い物に連れていく」を行う場合、同じように利用料をもらっても違法ではないか⇒違法ではない。いろいろなサービスの中の一つであれば良い。
Q:運転ボランティアの資格要件などはあるか?
普通免許を交付される限りでできるとしか言えない。年齢制限などは各団体が決めればよい。
Q:無料で運行し利用者から謝礼をもらう場合、一定の基準額を決めて良いか?
額を提示すると違法になる。謝礼はあくまでも「任意」でないといけない。

質疑応答

(福)亀岡市社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉係

mail:tiikifukusi@fukukame-net.or.jp

亀岡市余部町樋又61-1 ふれあいプラザ内 TEL:0771-23-6711 / FAX:0771-24-0350

「令和7年度亀岡市生活支援体制整備事業」委託事業

令和7年度 地域活動者交流会開催報告



12/12
(金)

- 第1部 ①学習会～みんなで学ぼう～
②交流会～みんなで話そう～
- 第2部 ステージ発表会

学習会の内容

- 地域活動の紹介
- サロンアンケート
集計結果
- 今年印象的だったこと
- ともいきさんの推進

ステージ発表



ブース 巡り



交流会

ともいきさん交流会

6月20日に開催しました

11名の「ともいきさん」と交流を深めることができました。



「近所を散歩し、近隣
住民とあいさつを交わし
会話すること積極的におこ
なっている」



「できるだけ多くの人
に声をかけるようにし
ている」

あなたはどんな
ともいきさん?

おひとり暮らしの高齢
者を気にかけるように
している

サロン代表「みんなで
一緒に歌うことの楽し
さを感じていただいて
いる」



「サロンの運営。今日
も楽しかった」と
言ってもらえるのが励み

「外出しない方を外に
連れ出す」

「認知症の方にどう接し
たらよいだろう?と思い
学習会グループを立ち
上げた」



「サロン会場まで来た
くても来られない方
のお手伝い」



「サロン参加者の支援」
「自宅近辺では“ながら
見守り”も実施の一人お
ひとり違った形の見守り
をしている」



今の時代だからこそ...

やっぱり「ともいきさん」は必要です。

(福)亀岡市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL 0771-23-6711



尼崎市 高齢者生きがい就労事業

～就労的活動支援Coの取組～

令和8年2月10日

近畿厚生局 地域づくり加速化事業ブロック別研修





兵庫県尼崎市

(R7.3.31現在)

45万人 (457,072人)

高齢者数 124,224人

高齢化率 27.2%

9期保険料 7,493円 (月額)

認定率 25%

生活保護受給者などの低所得者の割合が高い
のが特徴



阪急、JR、阪神の 駅が市内に13か所

大阪まで5分
神戸まで16分

南北の交通はバス

→ 自動車を
持たなくてよい

本市の就労的活動支援コーディネーターの役割

産業界と連携した
生きがい就労メニュー
(室内で座って出来るしごと)

これらの生きがい就労を
コーディネート

地域活動 (支え合い活動)
につなぐ
生きがい就労メニュー
(身体を使うしごと)

就労的活動支援コーディネーター
の役割(4名配置)

高齢者のはたらく
ニーズ把握

産業界からしごと
調達

高齢者への
作業指導

品質管理・納品

商品開発

高齢者のはたらく
ニーズ把握

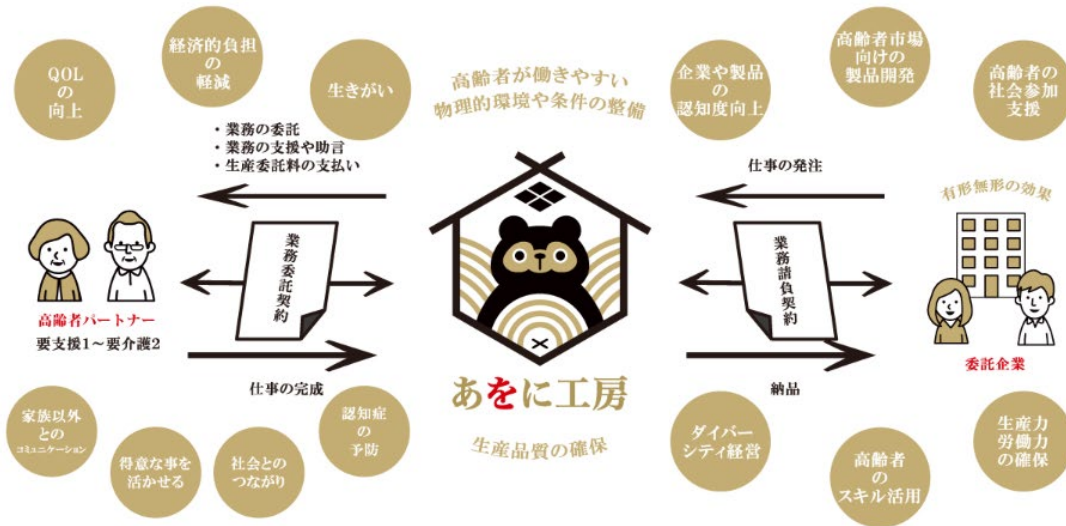
「地域活動を
しごとに」といった
講座の開催

団体立上げに向けた
伴走支援



本市の就労的活動支援コーディネーター

お仕事委託の流れ《高齢者就労支援事業》



奈良県・大阪府にあるサービス付き高齢者向け住宅で、高齢者就労支援を実施するとともに、障害者の就労支援を手掛ける
あをに工房株式会社



はんしんワーカーズコープ

尼崎市で、介護事業所や児童デイサービス、生活困窮者（生活保護受給者）への就労準備支援事業の受託に加え、地域食堂や商店街の活性化などを行っている

労働者協同組合はんしんワーカーズコープ

共同事業体として就労的活動支援コーディネーターを受託

産業界と連携した生きがい就労メニューの一例

買い物袋（巾着袋）の
ひも通し作業



ゴミ袋の封入作業



EXPO2025大阪・関西万博で
出展される商品の作成



着物の帯ほどこき作業



角底バックの作成



角底バックの作成



着物の古着を活用した
ポーチの作成



地元農家で採れた里芋の土
落とし（学校給食の食材）



産業界と連携した生きがい就労の拠点など

武庫東地域包括支援センターの
空きスペースでの生きがい就労の実施



はたらくらボ立花



認知症グループホームの
空きスペースでの生きがい就労の実施

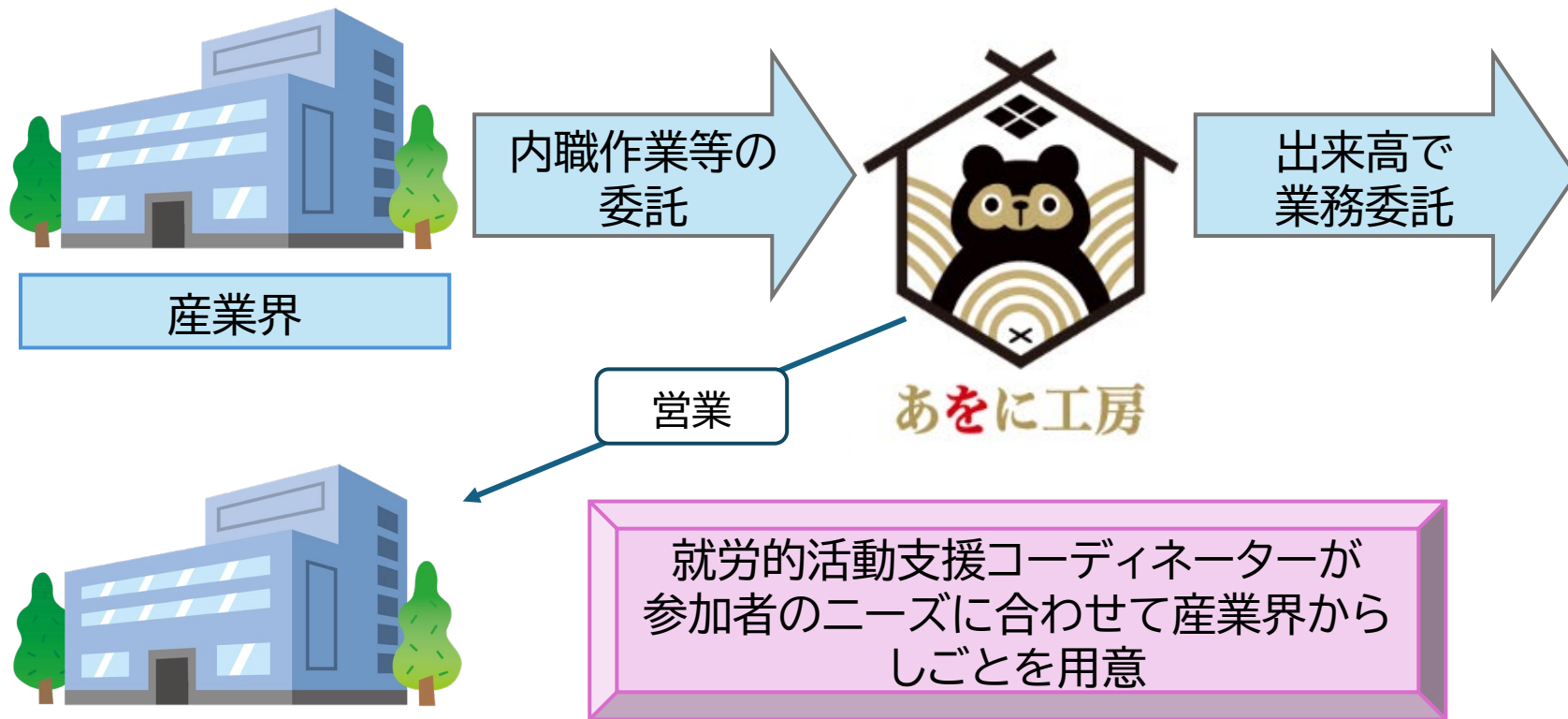


はたらくらボ久々知

はたらくらボ大物

場 所	令和8年1月時点	最年少	最高齢	月額報酬
(市直営) はたらくらボ 3か所	約150人	59歳	92歳	1,000円~20,000円
地域包括支援センター 1か所				
認知症グループホーム 1か所				

産業界と連携した生きがい就労の事業スキーム



参加者の声

毎日引きこもっていたが、事業に参加してから外出するようになった。

毎日、行くところがあって嬉しい。

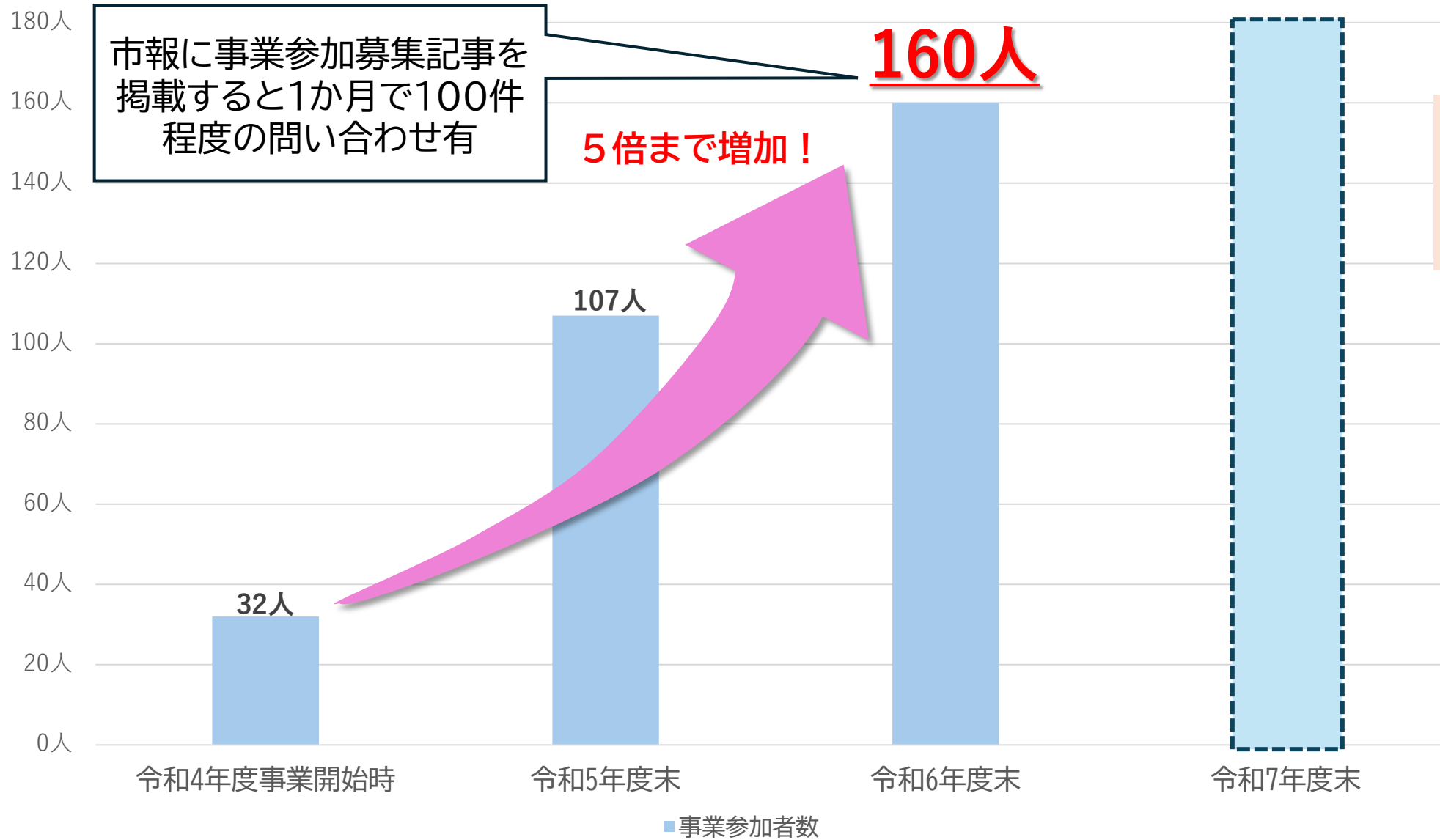
夜寝られるようになった。

重要視している点

- ① 自分のペースでしごとができるように、出来高制で報酬支払
- ② 週1回、数時間だけの参加でも可
- ③ できるだけ参加者同士、話しながら和気あいあいとしごとをしてもらえる環境に
- ④ 必ず、見学・体験をしてもらってから参加してもらうように工夫

事業参加者の推移

事業参加者数（室内作業のみ）



更なる参加者増の見込み

高齢者の「はたらく」ことへのニーズが高い

市報に事業参加募集記事を掲載すると1か月で100件程度の問い合わせ有

5倍まで増加！

160人

令和4年度事業開始時

令和5年度末

令和6年度末

令和7年度末

■事業参加者数

生きがい就労



チームオレンジ



認知症の人

家族等
と来場



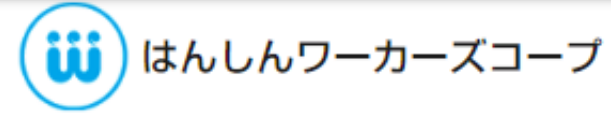
チームオレンジのメンバーが
認知症の人の見守りや
作業補助を行う

チームオレンジのメンバーも
生きがい就労を実施

チームオレンジ尼崎

チームオレンジのメンバーの支援のもと、認知症ご本人(3人)とその家族が参加し、はたらく取組を実施

地域活動（支え合い活動）につなぐ生きがい就労の事業スキーム



生活支援コーディネーター

地域包括支援センター

連携

就労的活動支援
コーディネーター

地域課題
個別支援の課題

地域活動(はたらく)
の
創出

「はたらく」という
要素の取り入れ

地域活動(訪問型サービスB)の立ち上げに向けた取組



地域活動が「しごと」になるといったキーワードをテーマに各
地域で講座を開催し、地域で地域活動の興味がある人を集め、
地域課題を共有し、自分ができること、やりたいことを話しあ
い、集まったメンバーで、支え合い活動の立ち上げを目指す。

地域活動（支え合い活動）につなぐ生きがい就労の一例

地域課題：地域にスーパーマーケットの数が少ない上に、バスの本数も少ない地域に住む高齢者への買い物支援

地域包括支援センターが「買い物に困っている高齢者が多い」という地域課題共有を行ったことを皮切りに、生活支援コーディネーター（市社協）が中心となって、地域福祉ネットワーク会議（協議体）でその課題解決に向けた取組を開始しました。その協議体に、参画させてもらい、地域福祉ネットワーク会議（協議体）で地域活動団体の立ち上げを行うこととなり、令和6年10月7日に正式に立ち上がりました。

具体的な取組：地域課題の解決を「しごとにしよう！」といったテーマで、その地域の市民を集めた講座を実施

地域包括支援センター

地域課題の洗い出し



個別支援の中で、「買い物に困っている高齢者が多い」

ゴミ捨て、買い物支援
など

生活支援コーディネーター（市社協）

地域課題に対し、自分ができるとの洗い出し



地域全体の課題として、地域福祉ネットワーク会議で、課題解決に向けて取組を検討

双方への課題への
アプローチ

就労的活動支援コーディネーター

地域活動団体の立ち上げ



「はたらく」視点を入れ、地域活動の担い手養成の講座開催を企画立案

高齢者の地域活動への参加（社会参加）

地域の高齢者への支援

令和6年10月7日立ち上げ
令和6年度末10人の参加

地域活動（支え合い活動）団体立上げの支援内容



活動している先輩団体への
視察・体験の調整

自分たちがやりたいこと
やれることを決める

収支見通しをたてる

団体名を決める

ロゴやチラシ、会則を
決める

団体の銀行口座をつくる

団体の携帯電話を契約する

活動の周知を行う

伴走支援

メンバー全員で話し合い、納得した上で意思決定していくことが重要
現在は、月20件程度の活動を行っている。

地域活動（支え合い活動）団体の状況



令和7年3月末時点で、12団体が
支え合い活動を実施されています。



年間の訪問Bの活動補助件数は、
令和7年3月末時点で6,117件。
今年度も、1団体新たに立ち上がり、
活動件数は増加する見込み。

関係機関などの声

地域包括支援センターの声

- ・男性高齢者のつなぎ先に困っている。このような取組であれば、参加したいと思う人もいると思うが、場所が遠いため、市内に展開を進めてほしい。
- ・地域の高齢者の中で、日常生活の小さな困り事に悩んでいる人も多い印象があることから、支え合い活動団体が立ち上がっていくのは嬉しいし、就労的活動支援コーディネーターと一緒に取り組んでいきたい。
- ・一般的にはすごくアクセスの良い場所にお住まいの高齢者でも、買い物支援などを必要とされている人もいることから、支え合い活動団体を増やしていくのは、すごくいい取組だと思う。
- ・すごくいい取組だと思うし、大学等と連携し、効果検証を協同で行うといった取組も面白いのではないかな。

社会福祉協議会 (生活支援コーディネーター) の声

- ・生活支援コーディネーターの視点から見ても、地域の高齢者の中で、日常生活の小さな困り事に悩んでいる人も多い印象があることから、支え合い活動団体の立ち上げ等に向けて、就労的活動支援コーディネーターと一緒に取り組んでいきたい。
- ・どの地区も同じだと思うが、地域活動団体の担い手が高齢化しており、後継者を見つけていくことも課題であることから、一緒に担い手養成のための取組を行っていきたい。
- ・地域で生きがい就労を実施できるよう、就労的活動支援コーディネーターと一緒に動いていきたい。

これまで就労的活動を推進してきて感じること

年金生活の高齢者にとっては、
趣味・娯楽を毎日することは難しい

目的が明確でない集いの場に行きたがらない
高齢者も一定数いる

誰かの役に立っていると実感したい
高齢者もいる

「はたらく」といったことを求めている
高齢者が多い

「はたらく」ことは、高齢者の「社会参加・生きがい創出」に大きな効果があるのではないか。